

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7 年 6 月 2 日

(宛先)奈良市長



提出者
住 所 〒630-8013 奈良県奈良市三条大路2丁目1番66号
氏 名 平井建設株式会社
代表取締役 平井 克
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0742-36-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項及び奈良市産業廃棄物処理計画作成指導要綱第6条の規定に基づき、令和 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	平井建設株式会社
事業場の所在地	奈良県奈良市三条大路2丁目1番66号
事業の種類	日本標準産業分類の区分 建設業 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年 4 月 1 日 から 令和7年 3 月 31 日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1,581t	全 処 理 委 託 量	1,581t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	541 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

【集計用シート】産業廃棄物 処理計画実施状況報告書

氏名又は法人名	株式会社政務株式会社	所在地及び所属部署	工務部
報告担当者名	森田 勇樹	電話番号(直通)	0742-36-1111

単位: t

廃棄物の種類	排出量 ①	自ら処理を実施						処理委託先の内訳						優良認定業者 への 処理委託量	処理委託後 の 最終処分量
		中間処理を含まない			中間処理を含む			処理委託先 の 処理委託量 ②	中間処理の 委託先 ③	中間処理の 委託先 の 処理委託量 ④	中間処理の 委託先 の 処理委託量 ⑤	中間処理の 委託先 の 処理委託量 ⑥	中間処理の 委託先 の 処理委託量 ⑦		
		自ら 再生利用 ①	自ら 焼却 ②	中間処理 ③	④の中間処理のみ の焼却 ④	中間処理後の 残存量 ⑤	中間処理後の 再生利用量 ⑥								
燃え殻	0														
汚泥	0														
廃油	0														
廃酸	0														
廃アルカリ	0														
プラスチック類	28.2													28.2	0
紙くず	0														
木くず	78.73														
繊維くず	0														
金属くず	0														
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	3.8													0	0
がれき類	17.26													15.78	0
	21.06													15.78	0
	5,680.37													0.0	0
	28													0	0
	37.56													0	0
	263.15													18.85	5
	6,009.08													18.85	5
	44.13													40.94	5
	0														
	0														
	44.13													40.94	5
	24.15													0	24
	0.34													0.34	0.34
合計	6,205.69													104.11	34.34

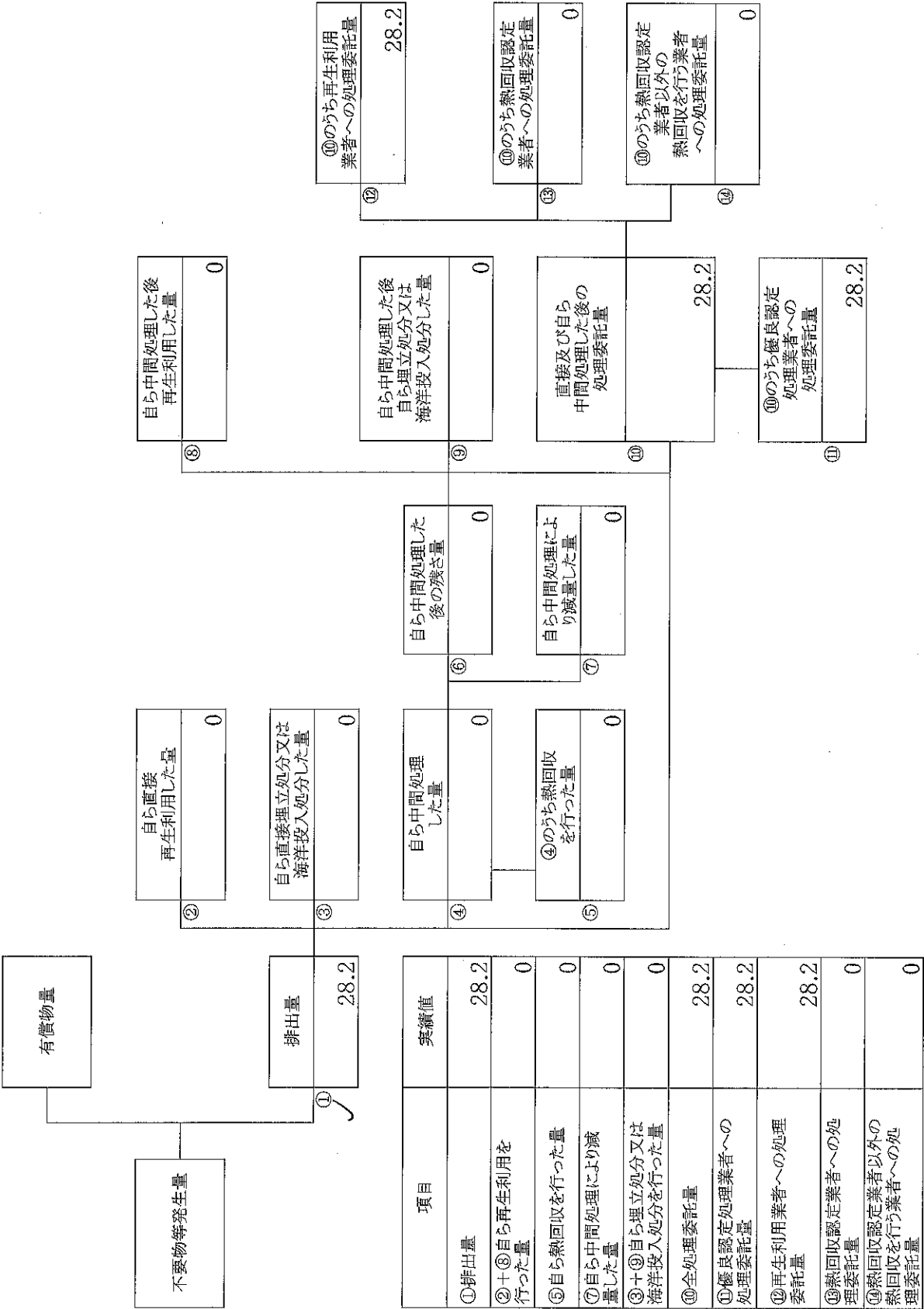
(注1) トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載可。
(注2) 上記産業廃棄物の品目以外の品目について排出実績があった場合は、「その他」欄に追加入力するとともに、裏面の「その他」のシートを添付してください。

単位:t

)

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類

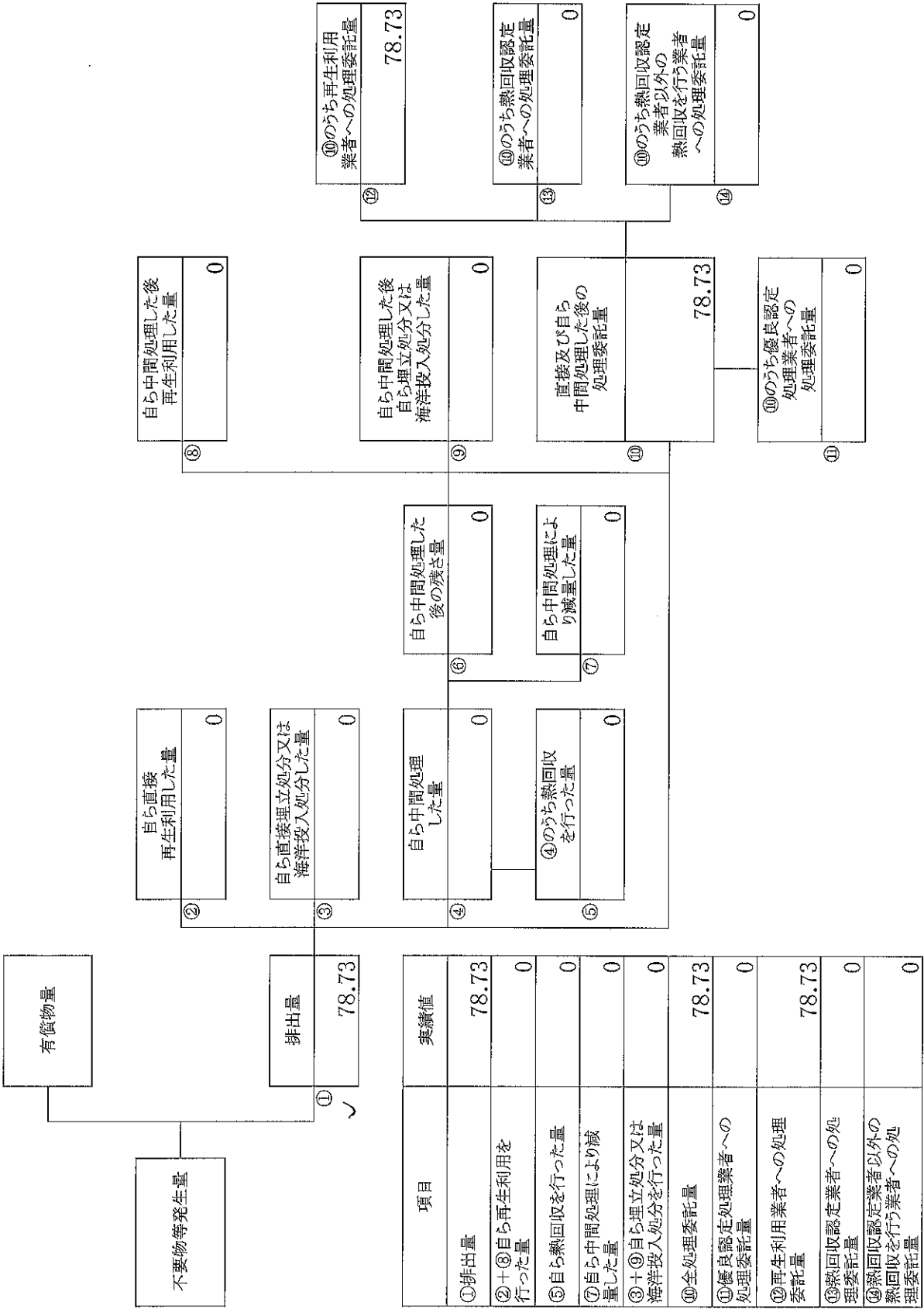
計画の実施状況



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

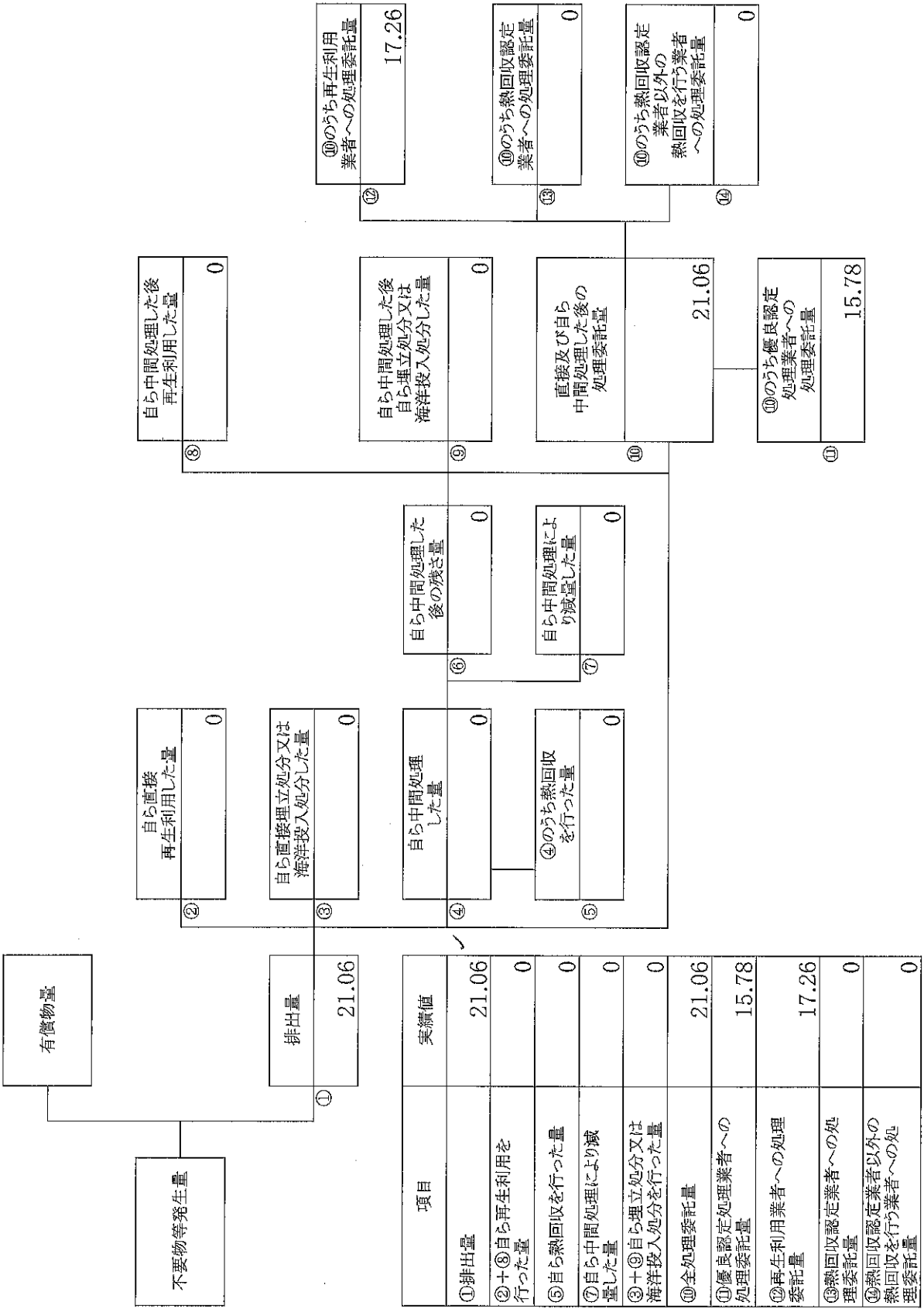
単位:t



単位:t

(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

計画の実施状況



単位:t

(産業廃棄物の種類: がれき類)

計画の実施状況

不要物等発生量	有償物量
	① 排出量 6009.08
	② 自ら直接再生利用した量 0
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 0
	④ 自ら中間処理した量 0
	⑤ ④のうち熱回収を行った量 0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 0
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 0
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 0
	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 6009.08
	⑪ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0
	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量 0
	⑬ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 18.85
	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0

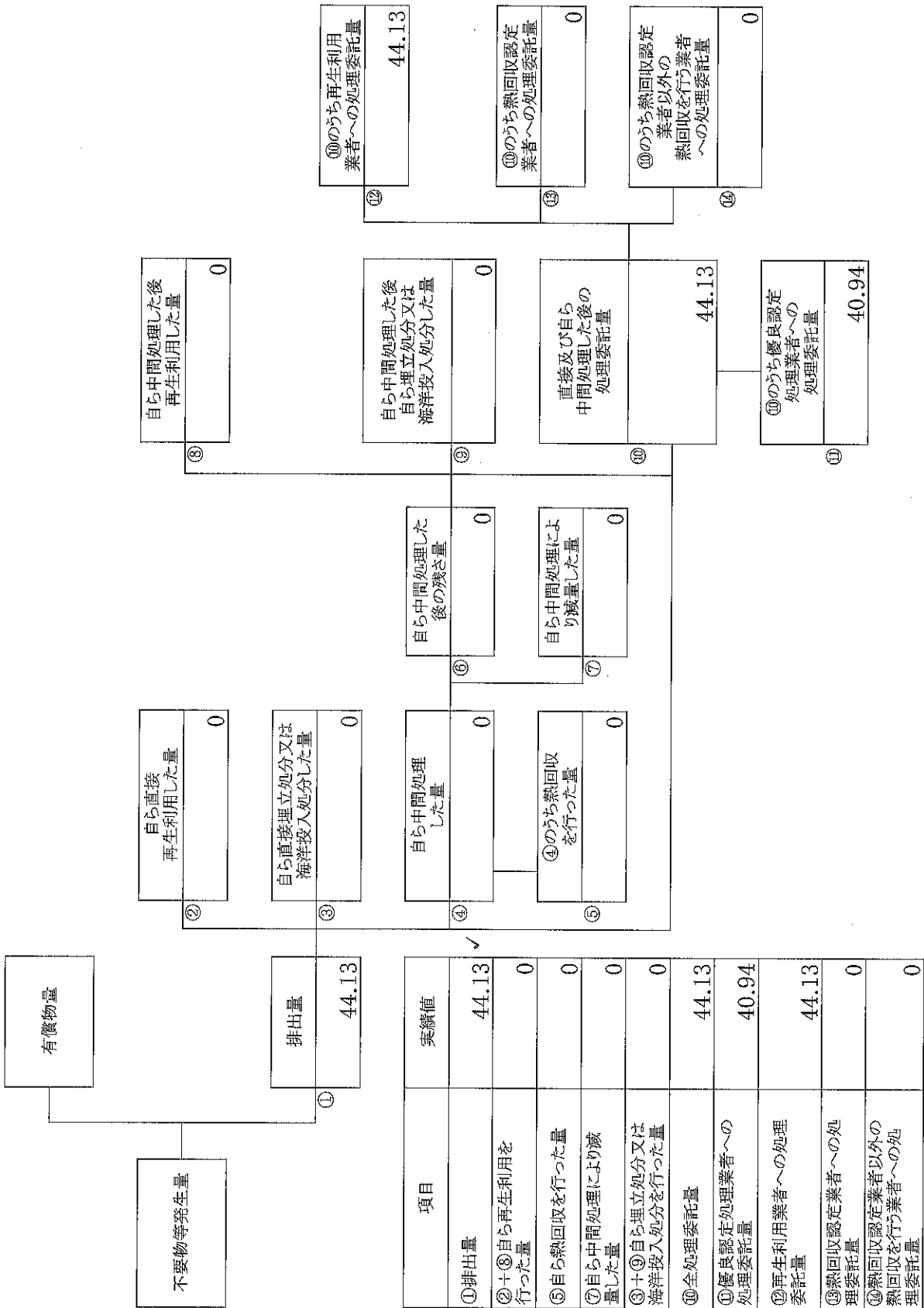
項目	実績値
①排出量	6009.08 ✓
②+④自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6009.08
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.85
⑫再生利用業者への処理委託量	6009.08
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

単位:t

)

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

計画の実施状況



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石綿)

単位: t

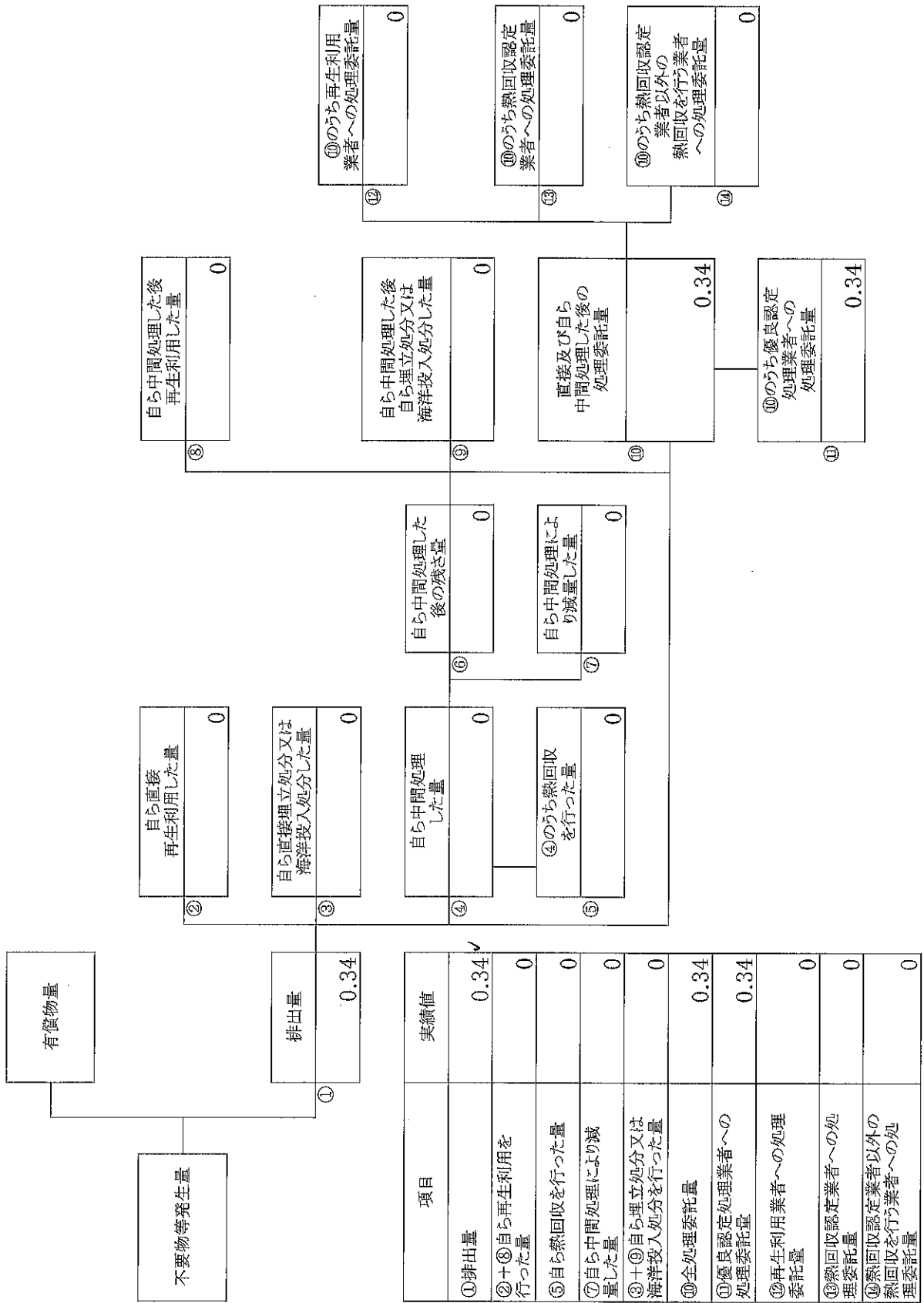
有償物量		自ら中間処理した後 再生利用した量		⑧		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
		0		0		0	
排出量		自ら直接 再生利用した量		②			
①		0					
24.15		自ら直接埋入処分又は 海洋投入処分した量		③			
		0					
④		自ら中間処理 した量		④			
0		0					
⑤		④のうち熱回収 を行った量		⑤			
0		0					
⑥		自ら中間処理した 後の残量		⑥			
0		0					
⑦		自ら中間処理によ り減量した量		⑦			
0		0					
⑧		直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量		⑧			
24.15		24.15					
⑨		⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量		⑨			
0		0					
⑩		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量		⑩			
0		0					
⑪		⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量		⑪			
0		0					

項目	実績値
①排出量	24.15 ✓
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋入処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	24.15
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

単位:t

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)

計画の実施状況



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

担当者 連絡先	所 属	工 事 部	職 ・ 氏 名	環境管理責任者 篠崎秀則	電 話	0 7 4 2 - 3 6 - 1 1 1 1
収 受 印	※	備 考	※		事 業 所 番 号	※